

科目名	金融経済学	
担当者	森 映雄	
配当学期	秋学期	
単位	2単位	
授業概要	サブプライム・ローンを契機に発生した世界的な金融危機は、その後世界経済暗雲を被したままにある。金融危機による経済不安定化は、 1. 実物市場の動向に金融市場が対応できないことによる、2. 金融市場の動向から実物市場に波及することによる、二つを類型化して、各の発生要因、それに対する対応策について講義する。	
授業の到達目標	実物経済を主因とする経済不安定化と金融部門から発生するそれとの相違を理解する。金融自由化は「金融自由化仮説」が唱えるのと裏腹に経済に不安定をもたらす要因を理解する。金融規制に関する理解を認識する。	
授業計画	(1) 金融不安定性とは？ (2) ベェブレンとミッチェルの金融恐慌論 (3) I. フィシャーのデフレ恐慌論 (4) ミンスキーの金融不安定化仮説 1) 資本主義経済の特徴 (5) ミンスキーの金融不安定化仮説 2) 外部金融による投資の決定 (6) ミンスキーの金融不安定化仮説 3) 投資と金融形態の変化 (7) ミンスキーの金融不安定化仮説 4) 金融不安定発生 (8) ミンスキー等の金融不安定化への対策 (9) 金融システム安定化のための規制 (10) ミッチェルの金融自由化仮説 (11) 金融自由化と金融危機の内在性：投機的圧力 1) (12) 金融自由化と金融危機の内在性：投機的圧力 2) (13) サブ・プライムローン問題について (14) 金融危機の内在性の防止 (15) 理解度の確認	
教科書	特になし。	
参考文献	主たる参考書：ミンスキー著・岩佐訳『投資と金融』、日本経済評論社、1988年 ミンスキー著・吉野他訳『金融不安定性の経済学』、多賀出版、1989年	
成績評価方法		評価基準
	試験 100%	
	レポート %	

	平常点評価 %	
	その他 %	
関連 URL		
備考		